

シンポジウム

国際比較

—学問の自由の動態と再構築

2022.2.20 sun. 13:00-16:45

ZOOMによるオンライン配信

定員: 120名・申込締切: 2/7(月)

学問の自由は、大学における中核的理念であるとともに、民主的近代社会において守られるべき究極的価値である。

しかし、この20年間、民主主義国家か否かを問わず、教員研究者・学生の学問の自由に対する侵害事例が広がるようになった。

本シンポジウムは、科学研究費の補助を受けて4年間、憲法学、高等教育研究、歴史学、経済学の共同研究として進めてきた成果を広く公表し、議論を深めるためのものである。

プログラム

- 13:00~13:10 開催の挨拶・趣旨 研究代表 羽田 貴史
- 13:10~13:40 講演1 広渡 清吾 (元日本学術会議会長)
「社会に対する責任としての学問の自由」
- 13:40~14:10 講演2 水島 朝穂 (早稲田大学法学学術院教授)
「戦前日本の国家統制と学問—文部省思想局の憲法学説調査」
- 14:10~14:40 講演3 宮田 由紀夫 (関西学院大学国際学部教授)
「アメリカにおける産学連携と学問の自由の課題」
- 14:50~15:20 講演4 栗島 智明 (埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授)
「学問の自由保障の国際規範形成」
- 15:20~15:50 問題提起 羽田 貴史 (広島大学・東北大学名誉教授)
「現代社会における学問の自由の課題」
- 15:50~16:40 招待参加者からのコメントと全体討議
- 16:40~16:45 閉会の挨拶 (司会)

司会 松田 浩 (成城大学法学部教授)
堀口 悟郎 (岡山大学法学部准教授)

参加申し込み

参加申込み
お問合せ先

東北大学高度教養教育・学生支援機構運営サポート室
TEL: 022-795-7551 E-mail: ieheoffice@ihe.tohoku.ac.jp
URL: <https://www.ihe.tohoku.ac.jp/>



主催: 学問の自由の動態と再構築に関する国際比較研究 (科学研究費基盤研究 B、2018-2021) グループ
(代表: 広島大学・東北大学名誉教授 羽田貴史)

共催・後援等: 東北大学高度教養教育・学生支援機構、広島大学高等教育研究開発センター、
日本高等教育学会、全国憲法研究会